

LogVillage PC-Backup

V1.0

バックアップ対象 **PC** 設定ガイド

株式会社 蒼 天

はじめに

「LogVillage PC-Backup v1.0 バックアップ対象PC設定ガイド」は、LogVillage PC-Backupにてバックアップを行うバックアップ対象 PC の設定変更手順について説明しています。

設定変更手順は、WindowsXP/Vista/7/Server2003/Server2008 の各 OS で異なります。また、設定変更前に必ず管理者権限を持つアカウントでログオンして下さい。

メモ

本書では、LogVillage PC-Backup v1.0 を LV PC-Backup と省略して表記する場合があります。

Revision 1.0.16

*本書に記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

*本ソフトウェアを無断で複製することを禁止します。

*本書の一部または全部を無断転載することを禁止します。

*本書の内容に関しては、将来予告なしに変更する場合があります。

株式会社蒼天

<http://www.so-ten.co.jp/>

support@so-ten.co.jp

〒135-0032

東京都江東区福住 1-14-4 山崎ビル 1F

TEL 03-5809-8406 FAX 03-5809-8495

目次

1.バックアップ対象 PC の設定変更.....	4
1-1.設定変更項目の一覧	4
1-2.設定変更の方法.....	5
2.WorkGroup 環境でのバックアップ対象 PC 設定内容	6
2-1.ファイアウォール	6
2-2.ネットワークアクセス時のアカウント認証方法.....	10
2-3.UAC 機能の停止	12
3.ActiveDirectory 環境でのバックアップ対象 PC 設定内容	13
3-1 グループポリシー設定変更項目	13
3-2. LogVillage PC-Backup に登録するバックアップ対象 PC のユーザ設定項目	23
4.お問合せ	24

1.バックアップ対象PCの設定変更

1-1.設定変更項目の一覧

以下にバックアップ対象 PC の設定変更項目一覧を示します。

設定項目	2003	2008	XP *1	Vista *2	7 *3
ファイアウォール [リモートコンピュータからアクセスを許可するためにファイアウォールを変更]	○	○	○	○	○
ネットワークアクセス時のアカウント認証方法 [リモートコンピュータからのアクセス時に登録されているローカルアカウント名で認証が行われるように変更]	○	○	○	○	○
UAC 機能の停止 [UAC 機能を停止するように変更]	設定変更 不要	○	設定変更 不要	○	○

*1: Home Edition はサポート外となります。

*2: Home Basic、Home Premium はサポート外となります。

*3 Home Premium はサポート外となります。

1-2.設定変更の方法

1).WorkGroup 環境の場合

WorkGroup 環境でのバックアップ対象 PC に対するマニュアル操作での設定変更となります。

※「2.WorkGroup環境でのバックアップ対象PC設定内容」をご参照下さい。

2).ActiveDirectory 環境の場合

グループポリシー機能により設定変更が可能です。

※「3.ActiveDirectory環境でのバックアップ対象PC設定内容」をご参照下さい。

2.WorkGroup環境でのバックアップ対象PC設定内容

2-1.ファイアウォール

※以下は、Windows XP Professional SP3 でのご説明です。他の OS にて設定変更を行う場合と画面や操作手順が異なります。

LogVillage PC-Backup からバックアップ対象 PC への接続を許可する必要があります。

この設定が行われていない場合、LogVillage PC-Backup はクライアント PC を見つけることが出来ないため、データバックアップを実行することが出来ません。

OS 標準以外のファイアウォールがインストールされている場合、該当ファイアウォール製品にて同様の設定変更が必要となります。

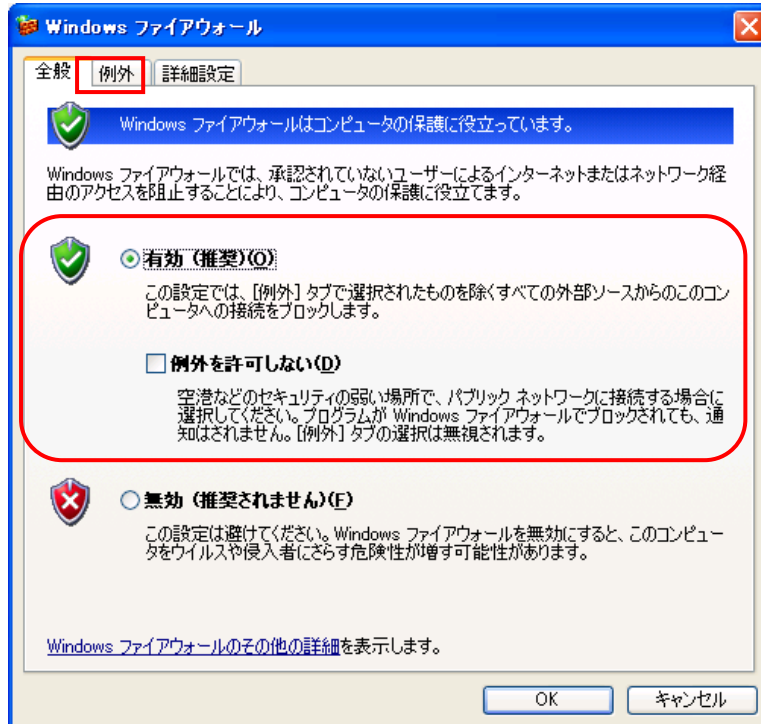
①「Windows スタートメニュー」→「コントロールパネル」→「Windows ファイアウォール」を起動します。

※「Windows ファイアウォール」の表示のためには「コントロールパネル」で「クラシック表示に切り替える」の選択が必要です。

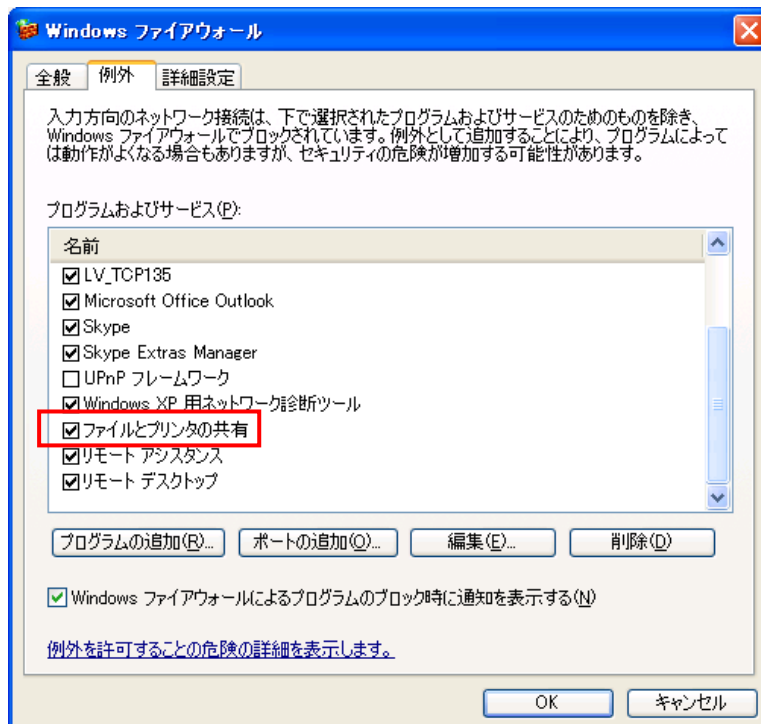
※Windows Vista および 7 の場合は、さらに「Windows ファイアウォールの有効化または無効化」をクリックして下さい。

②「全般」タブで「有効(推奨)」にチェック ON、「例外を許可しない」のチェック OFF となっている事を確認します。

「例外」タブをクリックします。



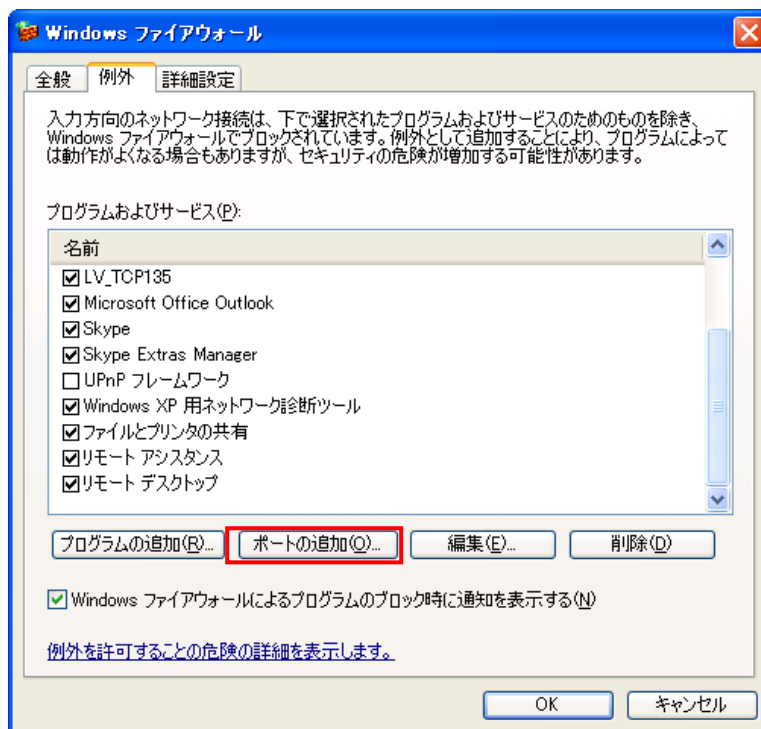
③「ファイルとプリンタの共有」にチェックを入れます。



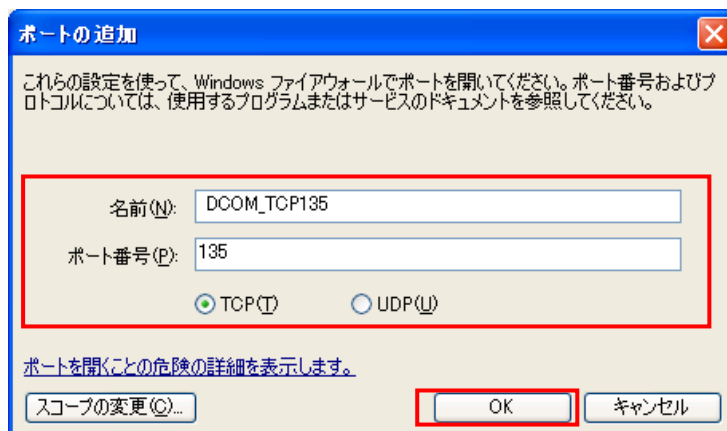
メモ 「ファイルとプリンタの共有」で **OPEN** となるポートは以下のとおりです。

UDP	137	:NetBIOS 名前サービス
TCP	137	:NetBIOS 名前サービス
UDP	138	:NetBIOS データグラム・サービス
TCP	139	:NetBIOS セッション・サービス
TCP/UDP	445	:ダイレクト・ホスティング SMB サービス

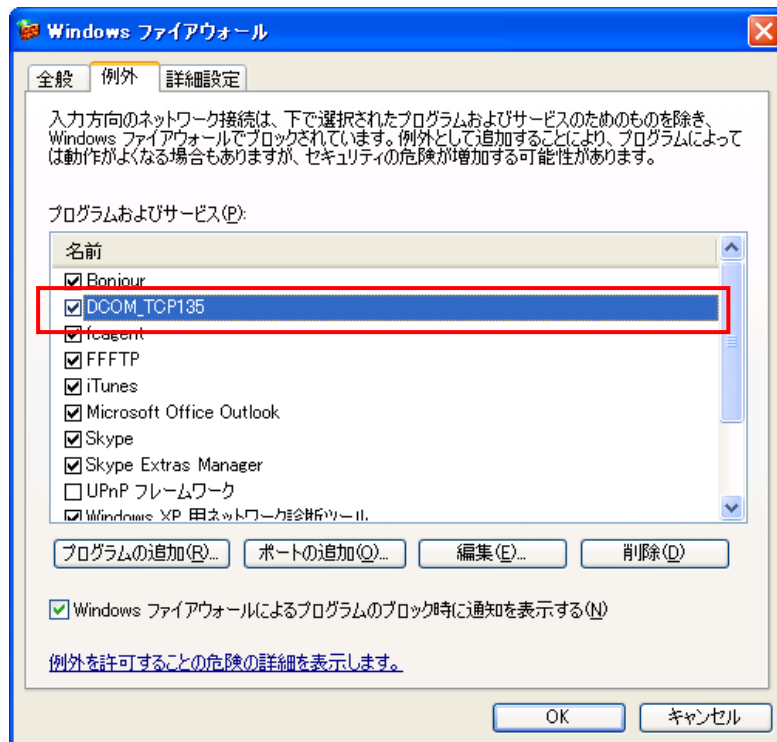
④[ポートの追加] をクリックします。



⑤“名前(N)”に DCOM_TCP135、“ポート番号(P)”に 135 と入力、“TCP”を選択し、[OK]をクリックします。



⑥ ⑤で設定した名前のポートが表示されていることを確認します。



2-2. ネットワークアクセス時のアカウント認証方法

※以下は、Windows XP Professional SP3 でのご説明です。他の OS にて設定変更を行う場合と画面や操作手順が異なります。

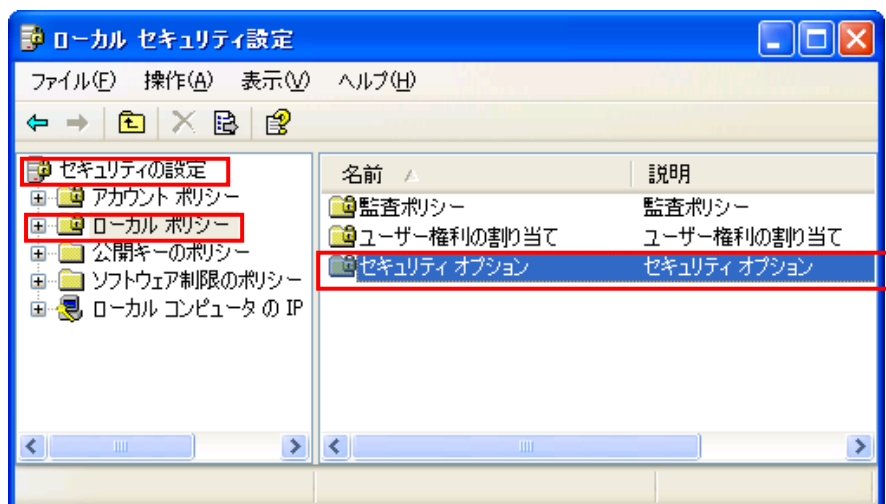
標準の状態では接続は常に[GUEST]アカウントが使用されます。

LogVillage PC-Backup がバックアップファイルを取得をするには Administrator 権限が必要なため、以下の設定変更を行って下さい。

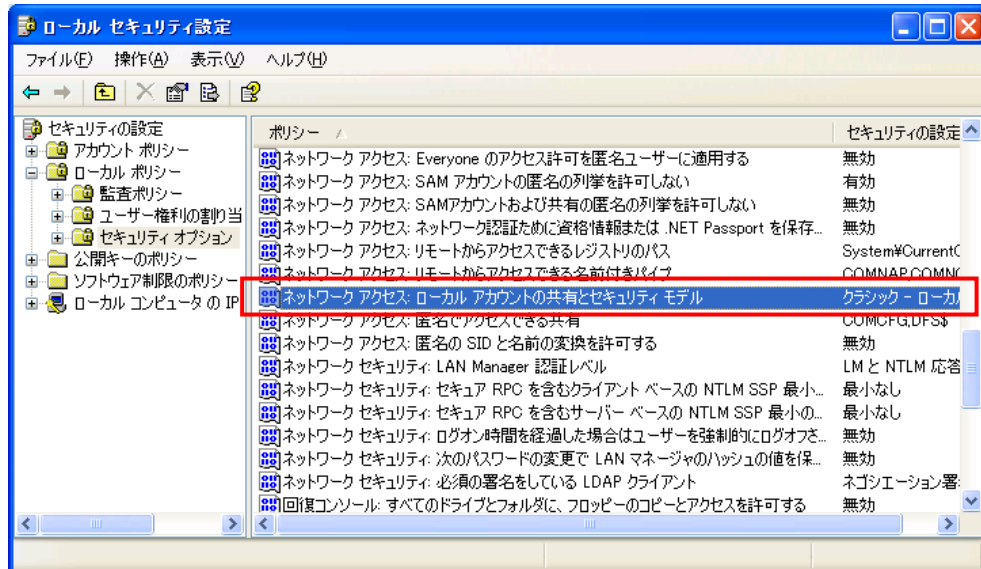
- ①「Windows スタートメニュー」→「コントロールパネル」→「管理ツール」→「ローカルセキュリティポリシー」を起動します。

※「Windows ファイアウォール」の表示のためには「コントロールパネル」で「クラシック表示に切り替える」の選択が必要です。

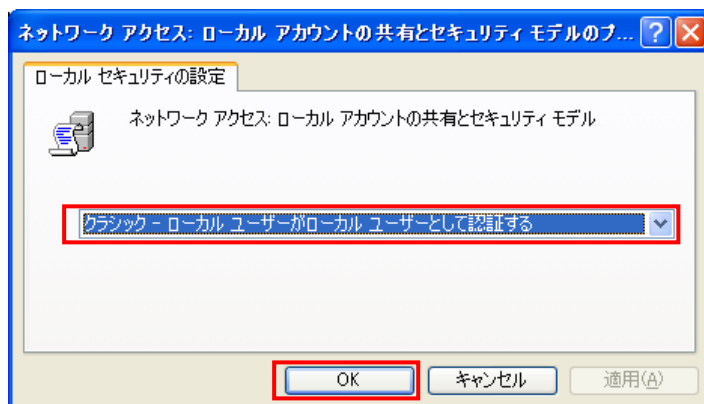
- ②「セキュリティの設定」→「ローカルポリシー」を選択し、「セキュリティオプション」をダブルクリックします。



- ③「ネットワーク アクセス:ローカル アカウントの共有とセキュリティ モデル」をダブルクリックします。



- ④「クラシック - ローカル ユーザーがローカル ユーザーとして認証する」を選択し、[OK]をクリックします。



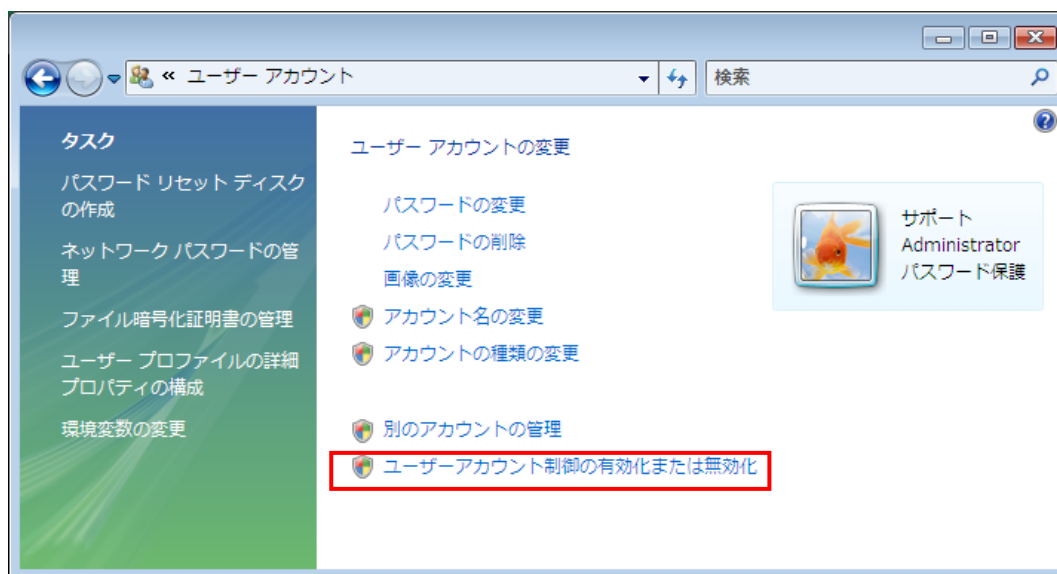
2-3.UAC機能の停止

UAC 機能を停止するように変更します。

Windows Vista 及び 7、Server2008 でのみ必要な設定となります。

通常この設定は行われていないため必ず以下の設定変更を行って下さい。

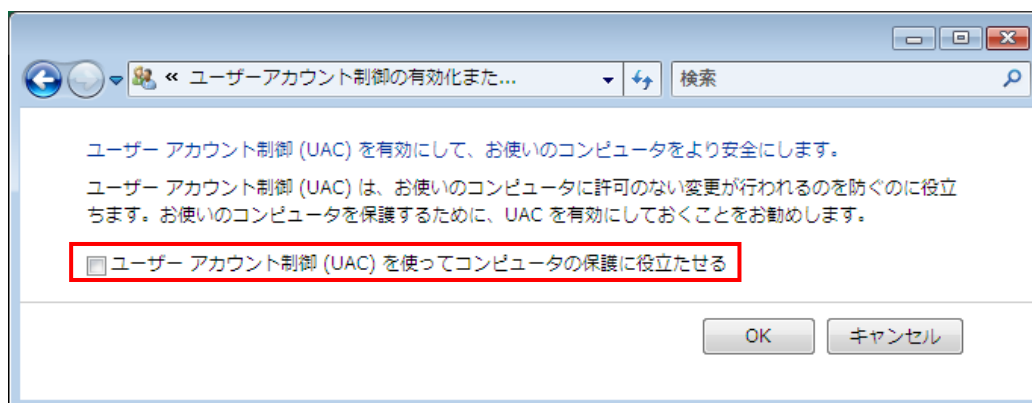
- ①[コントロール パネル]で[ユーザー アカウント]を表示します。



- ②[ユーザーアカウント制御の有効化または無効化]をクリックします。

- ③ユーザーアカウント制御画面「続行するにはあなたの許可が必要です。」と、表示されたら[続行]をクリックします。

- ④[ユーザーアカウント制御の有効化または無効化]ダイアログが表示したら、“ユーザーアカウント制御(UAC)を使ってコンピュータの保護に役立たせる”をチェック OFF にして、[OK]をクリックします。



- ⑤[OK]をクリックします。[これらの変更を適用するにはコンピュータを再起動する必要があります]と表示されたら、[今すぐ再起動する]を選択して、PC を再起動します。

3.ActiveDirectory環境でのバックアップ対象PC設定内容

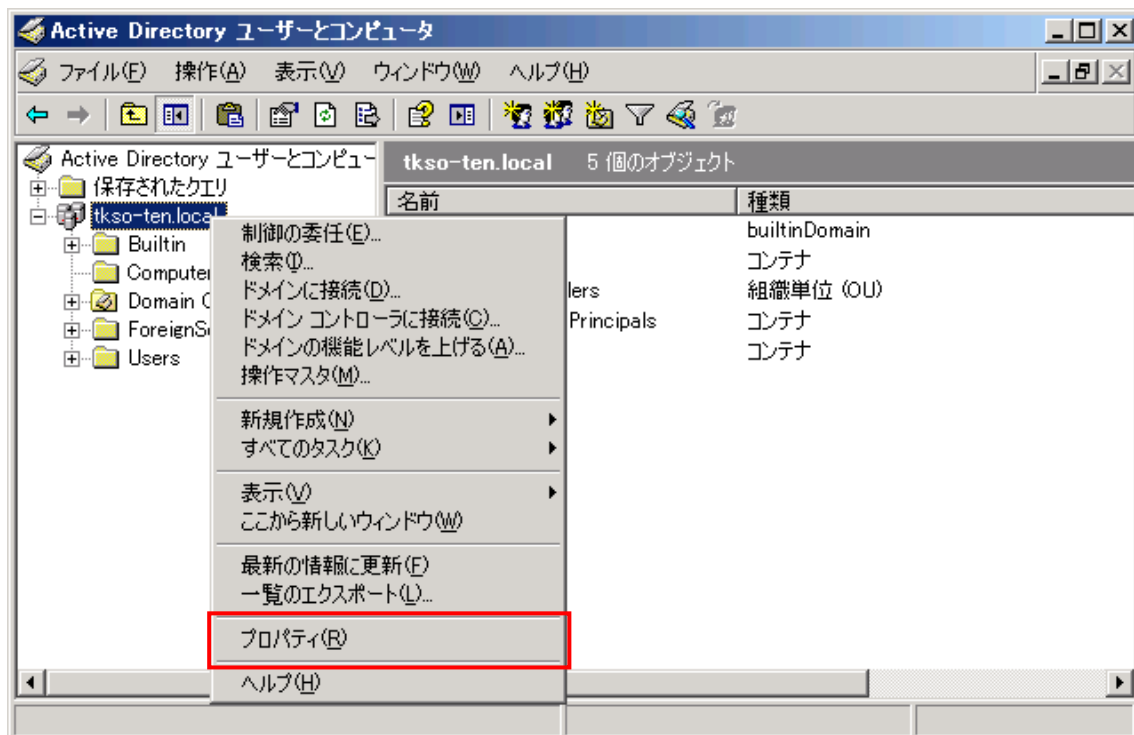
3-1 グループポリシー設定変更項目

3-1-1 Windows Server 2003 ActiveDirectory 環境

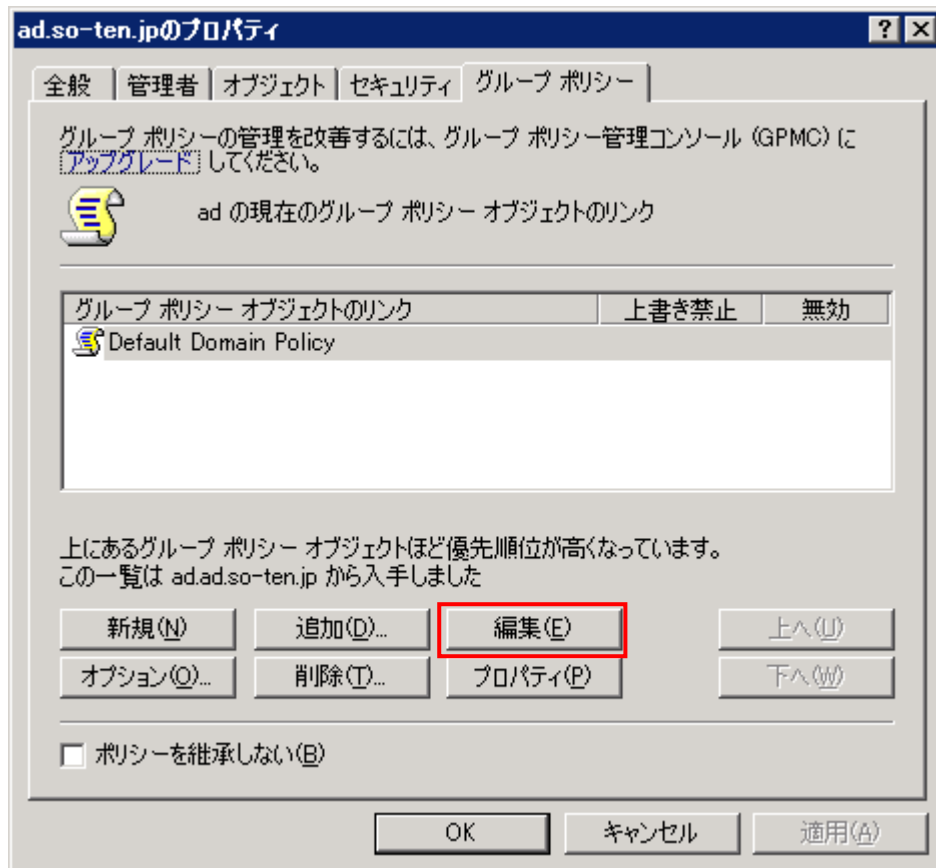
※Windows Server 2008 Active Directory 環境の場合は「3-1-2 Windows Server 2008 Active Directory 環境」をご参照ください。

1).グループポリシー設定画面

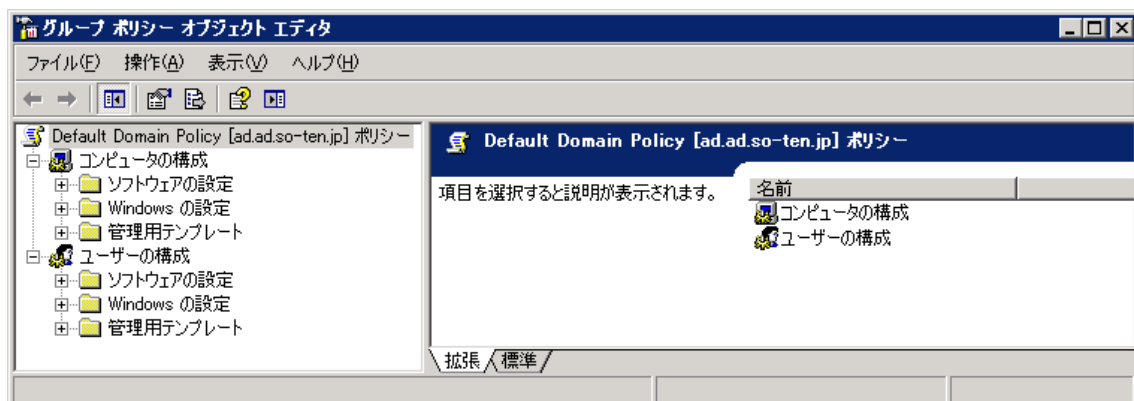
- ①「管理ツール」-「ActiveDirectory ユーザとコンピュータ」を選択します。
- ②設定を行いたいドメイン名、もしくは OU を選択して右クリック。「プロパティ」を選択します。



- ③選択したドメインのプロパティが開くので「グループ ポリシー」タブを開きます。
- ④Default Domain Policy または編集したいグループポリシーを選択し、「編集」を選択します。

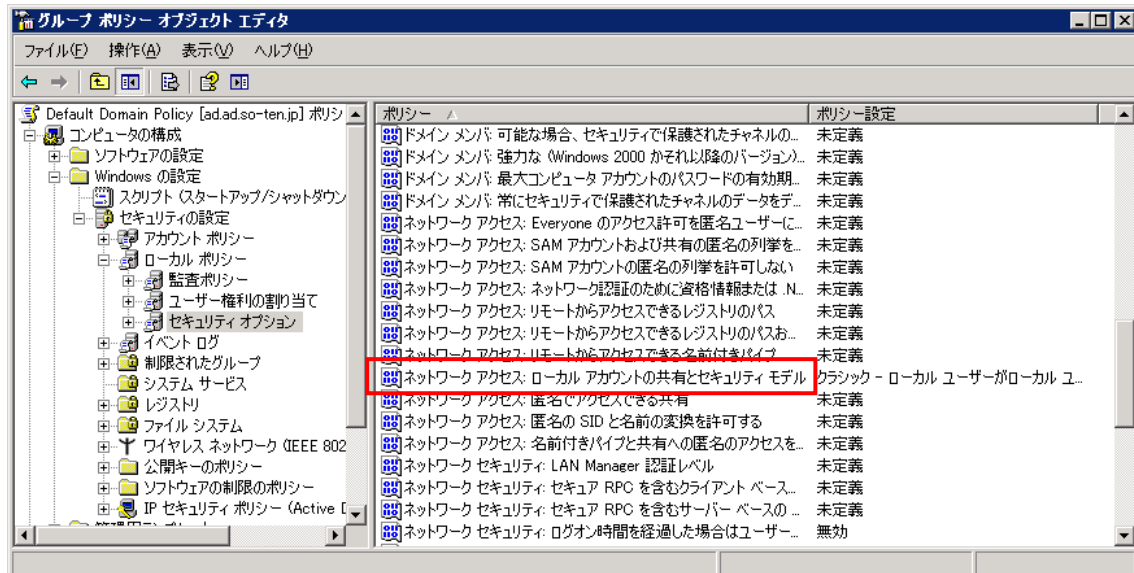


- ⑤グループ ポリシー オブジェクト エディタが開きます。



2).ネットワークアクセス時のアカウント認証方法

「コンピュータの構成」－「Windows の設定」－「セキュリティの設定」－「ローカルポリシー」－「セキュリティオプション」の設定を開き、以下の設定を変更します。



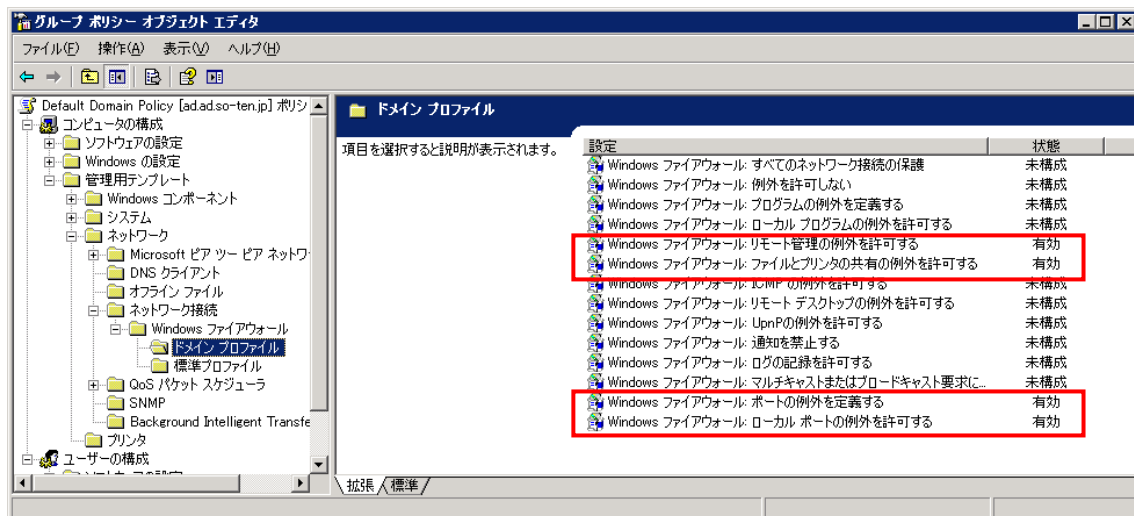
・ネットワークアクセス:ローカルアカウントの共有とセキュリティモデル

→「有効」に変更

→「クラシックローカルユーザがローカルユーザとして認証する。」を選択

3).ファイアウォール、グループポリシー

「コンピュータの構成」－「管理用テンプレート」－「ネットワーク」－「ネットワーク接続」－「Windows ファイアウォール」－「ドメインプロファイル」の設定を開き、以下の設定を変更します。



- **リモート管理の例外を許可する。**

「有効」に設定し、要求されない着信メッセージを許可するアドレスに、**PS** のアドレスを設定にします。(スコープ設定。導入環境に合わせて読み替えてください。)

- **ファイルとプリンタの共有の例外を許可する。**

「有効」に設定し、要求されない着信メッセージを許可するアドレスに、**PS** のアドレスを設定する。(スコープ設定。導入環境に合わせて読み替えてください。)

- **ポートの例外を定義する。**

「有効」に設定し、ポートの例外定義に以下の設定を追加します。

135:TCP:*.enabled:DCOM_TCP135

(*はスコープ設定。導入環境に合わせて読み替えてください。)

- **ローカルポートの例外を許可する。**

「有効」に設定する。

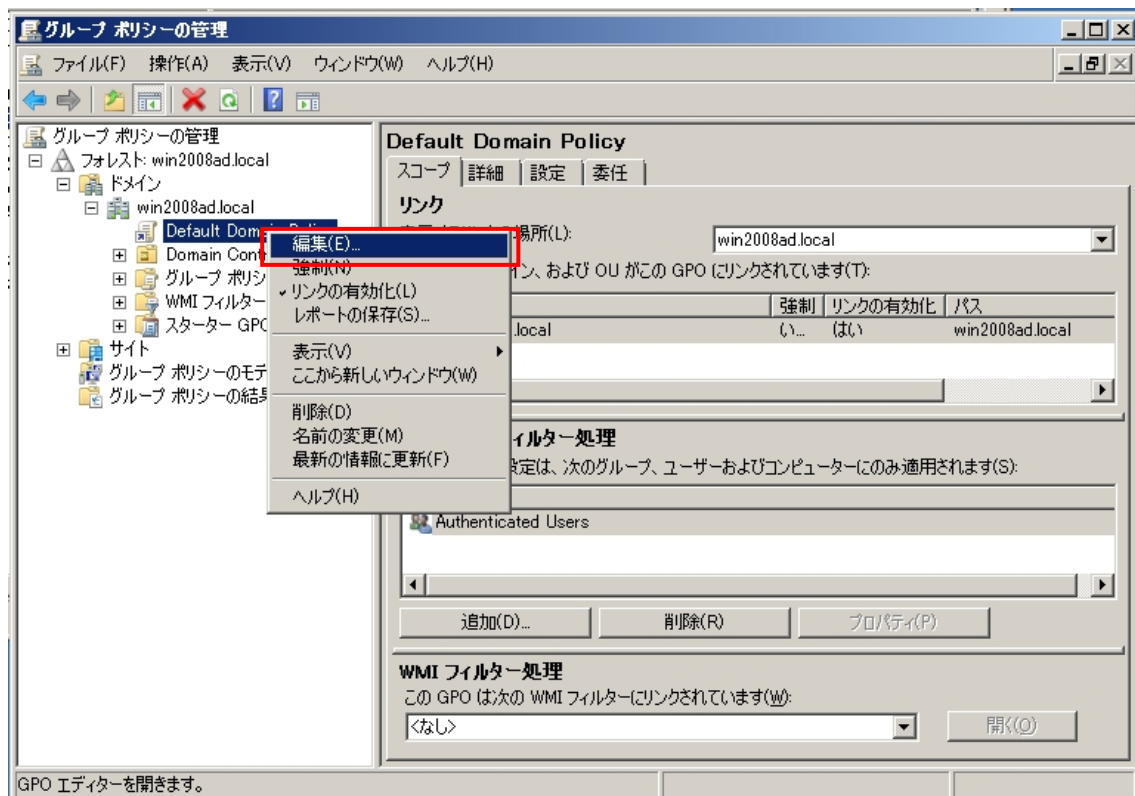
3-1-2 Windows Server 2008 Active Directory 環境

※Windows Server 2003 ActiveDirectory 環境の場合は「3-1-1 Windows Server 2003 ActiveDirectory 環境」をご参照ください。

1).グループポリシー設定画面

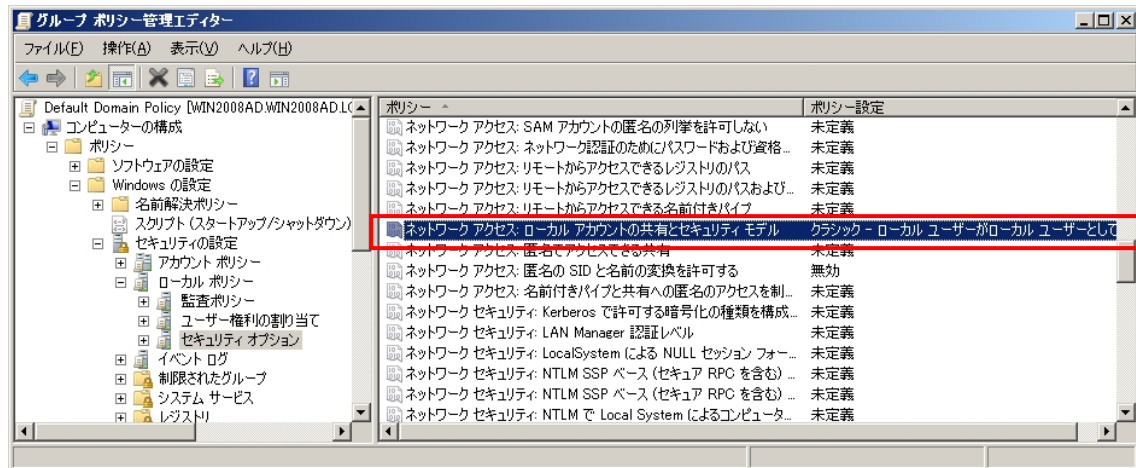
- ①「管理ツール」-「グループポリシーの管理」を選択します。
- ②設定を行いたいドメイン名、もしくは OU の **Default Domain Policy** を右クリックし、「編集」を選択します。

※Default Domain Policy への追加・編集が許可されていない場合、LogVillage PC-Backup 用のグループポリシーを作成してください。



2). ネットワークアクセス時のアカウント認証方法

「コンピュータの構成」→「ポリシー」→「Windows の設定」→「セキュリティの設定」→「ローカルポリシー」→「セキュリティオプション」の設定を開き、以下の設定を変更します。



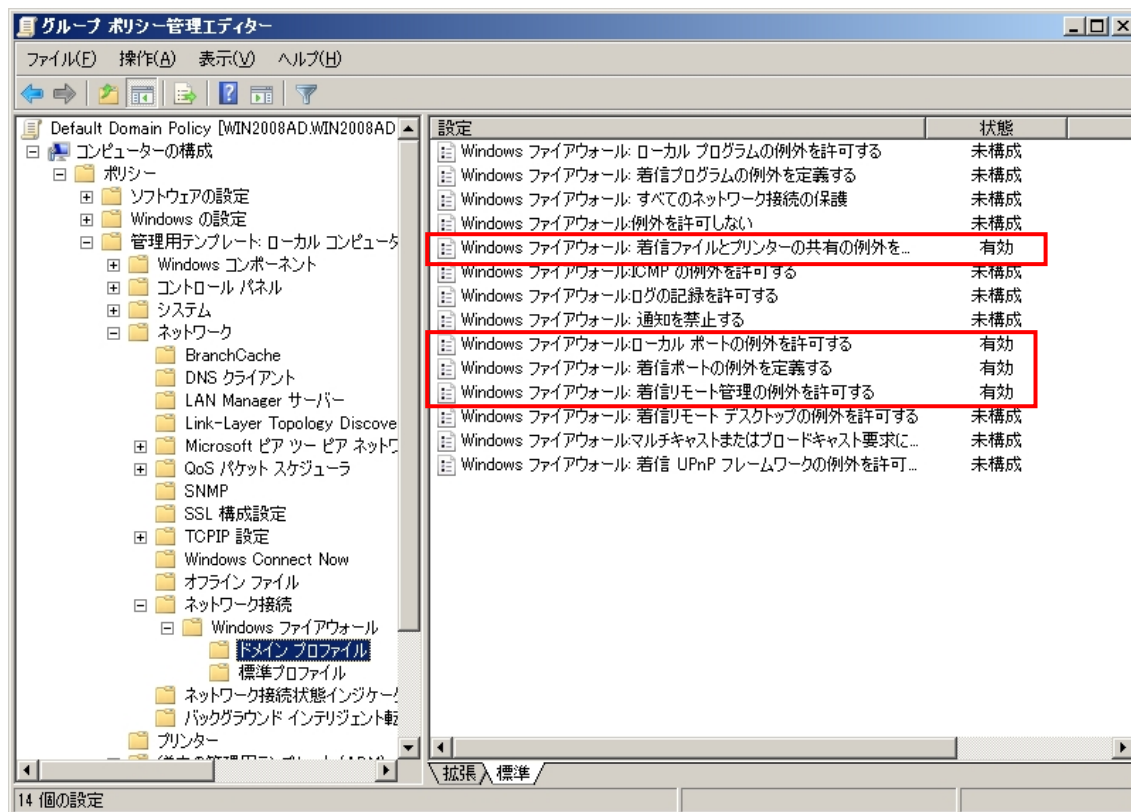
・ネットワークアクセス: ローカルアカウントの共有とセキュリティモデル

→「有効」に変更

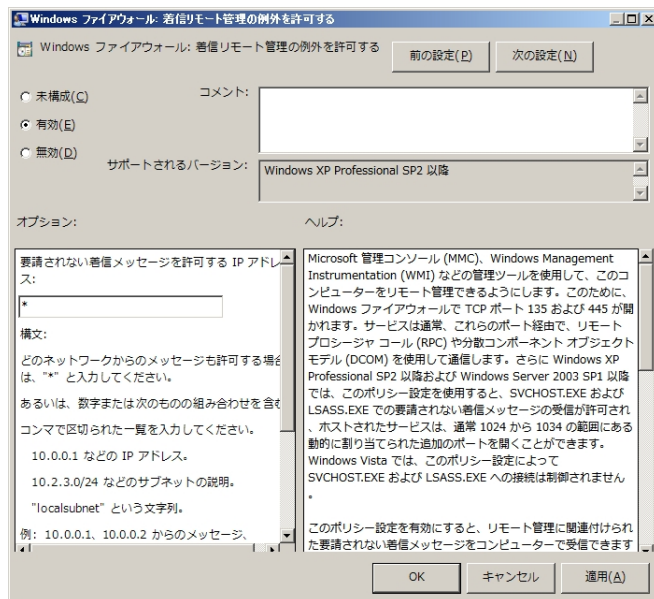
→「クラシック - ローカルユーザがローカルユーザとして認証する。」を選択

3).ファイアウォール、グループポリシー

「コンピュータの構成」－「ポリシー」－「管理用テンプレート」－「ネットワーク」－「ネットワーク接続」－「Windows ファイアウォール」－「ドメインプロファイル」の設定を開き、以下の設定を変更します。



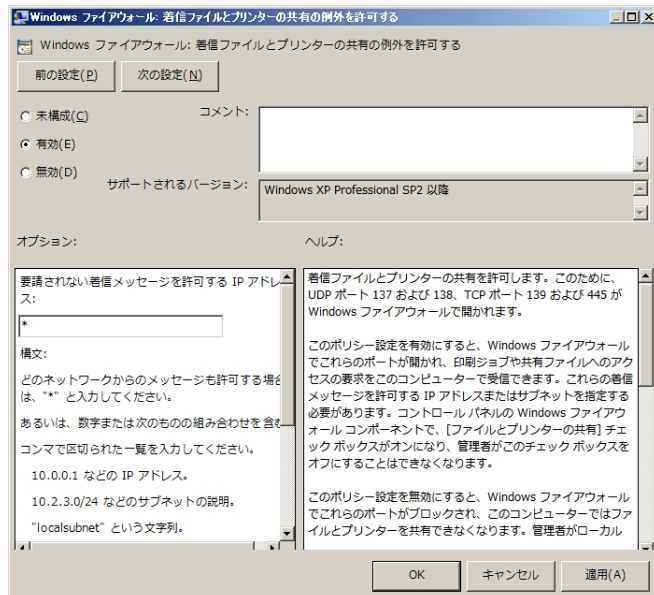
・着信リモート管理の例外を許可する。



→「有効」に設定し、「要請されない着信メッセージを許可するアドレス」に * を入力する。

各管理対象 PC 上で、本設定をポーリングサーバーに対してのみ許可する場合には、* をポーリングサーバーのアドレスに変更して設定する。

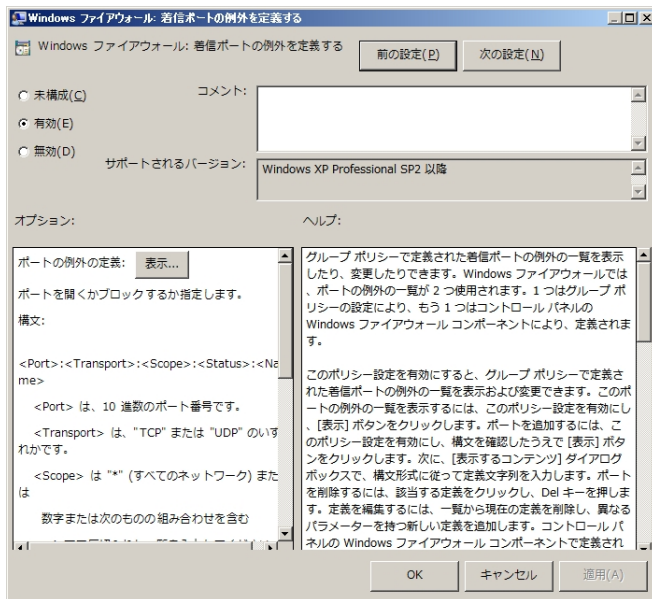
・着信ファイルとプリンタの共有の例外を許可する。



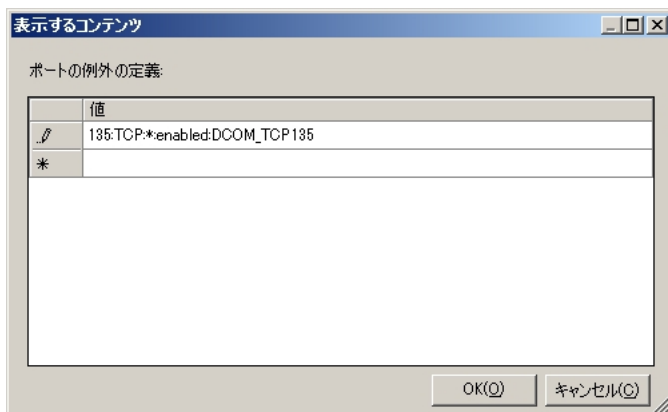
→「有効」に設定し、「要請されない着信メッセージを許可するアドレス」に * を入力する。

各管理対象 PC 上で、本設定をポーリングサーバーに対してのみ許可する場合には、* をポーリングサーバーのアドレスに変更して設定する。

・着信ポートの例外を定義する。



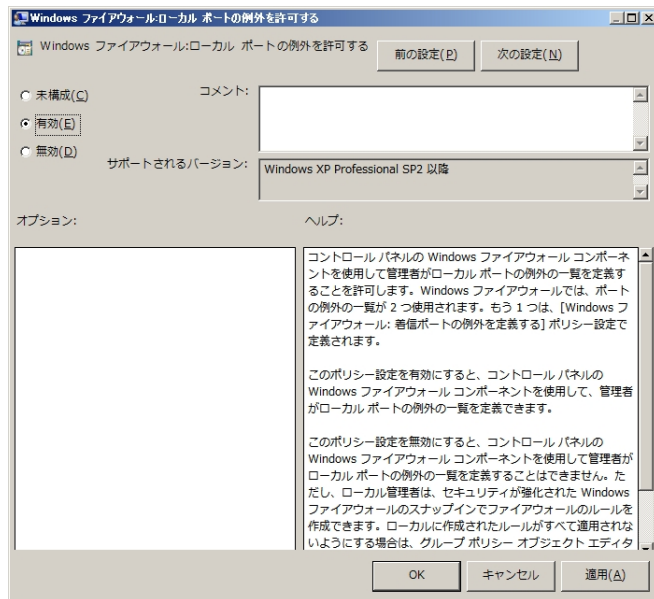
→「有効」に設定し、「ポートの例外定義」の表示を選択後、以下の設定を追加する。



135:TCP:*enabled:DCOM_TCP135

各管理対象 PC にて本設定をポーリングサーバーに対してのみ許可する場合、*をポーリングサーバーのアドレスに変更して設定する。

・ローカルポートの例外を許可する。



→「有効」に設定する。

3-2. LogVillage PC-Backupに登録するバックアップ対象PCのユーザ設定項目

1).Active Directory 上でのユーザー作成と LogVillagePC-Backup への登録方法

“Domain Admins”をプライマリグループとした LogVillagePC-Backup からの接続専用ユーザを作成し、バックアップ対象 PC をご登録ください。
また、ユーザの利用期限は無期限に設定下さい。

■登録例

[ActiveDirectory での設定内容]

所属ドメイン	:lv.local
コンピュータ名	:host01
ユーザ名	:logvillage

↓

[LogVillage PC-Backup への登録方法]

コンピュータ名	:host01
アカウント名	:lv.local¥logvillage
パスワード	:(logvillage ユーザに設定したパスワード)

4.お問合せ

本製品に対するご意見、ご質問はメール、TEL、FAX にて下記までお問合せ下さい。
お問合せの内容によっては、ご返答に多少お時間を頂戴する場合がありますので、予めご了承ください。

〒135-0032 東京都江東区福住 1-14-4 山崎ビル 1F
株式会社蒼天 サポートセンター

e-mail : support@so-ten.co.jp
TEL : 03-5809-8406
FAX : 03-5809-8495
受付・対応時間 : 月～金曜日(祝祭日、年末年始休暇除く)
10:00～17:00

お問合せの際、以下の内容をご記載下さいますようお願い申し上げます。

■お客様情報

会社名(団体、学校名)、ご部署名
ご担当者名
メールアドレス
電話番号
FAX 番号
お問合せの内容(できるだけ詳しくお書き下さい)

■稼働環境

コンピュータメーカー名:
型番:
メモリー容量:
ハードディスク容量または種類:
OS バージョン:
サービスパック:



株式会社 蒼天

〒135-0032 東京都江東区福住 1-14-4 山崎ビル 1F
<http://www.so-ten.co.jp/>